様　式　集

③運営費助成金関係（教材費）

**静言研会様式１－２**

言語障害児指導相談事業補助金交付申請書

　令和　　年　　月　　日

静岡県言語・聴覚・発達障害教育研究会会長　様

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〒

所　在　地

名　　　称

教室担当者

令和　　年度において言語障害児指導相談事業を実施したいので、補助金を交付されるよう申請します。

１ 　交付申請

　(1) 金　額　　　　　　　　　　　　　　円

(2)事業の目的

教材を活用して就学前の言語障害児の早期療育を推進するため。

２ 　指導者一覧

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 指　導　者　氏　名 | 静言研会員○ | 職　名　等 |
| 1 |  |  |  |
| 2 |  |  |  |
| 3 |  |  |  |
| 4 |  |  |  |

３　前年度指導幼児実績

　　　　　令和　　年度　　　　　延べ指導幼児数　　　　　名

* ３月１日現在で記入する。
* 定期指導児のみカウントし、２週間に一度の指導児は0.5名でカウントする。
* 観察指導児数や相談児数は人数に含めない。
* 申請状況により、金額に多少の変更があっても申請する。
* 設置所管担当部署に確認する。

**静言研会様式２**

２ 幼児言語指導教室支援事業計画

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 所在市町村名 | 実施機関名　　 | 人員 | 県費補助(予定)額 | 購　入　物　品　名 | 備考 |
|  |  |  |  |  |  |
| 計 |  |  |  |  |  |

**静言研会様式６－２**

言語障害児指導相談事業補助金実績報告書

令和　　年　　月　　日

静岡県言語・聴覚・発達障害教育研究会会長　様

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〒

所　在　地

名　　　称

教室担当者

令和　　年度の補助金交付を受けた言語障害児指導相談事業が完了したので、関係書類を添えて報告します。

実績報告

（１）金　額　　　　　　　　　　　　　円

（２）支出内訳

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 領収書№ | 金額 | 費目 | （内訳金額） |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

※設置所管担当部署に確認する。

**静言研会様式７**

２ 幼児言語指導教室支援事業実績報告

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 所在市町村名 | 実施機関名　　 | 人員 | 県費補助額 | 購　入　物　品　名 | 備考 |
|  |  |  |  |  |  |
| 計 |  |  |  |  |  |

**静言研会様式６－２**

見本

言語障害児指導相談事業補助金実績報告書

令和　　年　　月　　日

静岡県言語・聴覚・発達障害教育研究会会長　様

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〒

所　在　地

名　　　称　　入会登録時の名称を記入

教室担当者

令和　　年度の補助金交付を受けた言語障害児指導相談事業が完了したので、関係書類を添えて報告します。

教室ごとに金額が違います。

実績報告

（１）金　額　　　　　　　　　　　　　円

（２）支出内訳

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 領収書№ | 金額 | 費目 | （内訳金額） |
| １ |  | （記入例）・指導用教材・口腔機能訓練用教材・書籍・通信費・その他 |  |
| ２ |  |  |  |
| ３ |  |  |  |
| ４ |  |  |  |
| ５ |  |  |  |
| ６ |  |  |  |
| ７ |  |  |  |
| ８ |  |  |  |
| ９ |  |  |  |
| 10 |  |  |  |

　　　　　　合計が、各教室の補助金の金額と同じになるようにお願いします。

領収書の宛名は、◎　静岡県言語・聴覚・発達障害教育研究会

　　　　　　　　　　　　　　　　　×　学校名・教室名

**教材費補助金会計事務について**

**＜留意事項＞**

・領収書の宛名は、「**静岡県言語・聴覚・発達障害教育研究会」**のみ可。

・購入できる物は、原則として**直接指導に使用する物**です。

・文書は、静言研のホームページ（「会計の手引き」）からダウンロードしてください。

・個人名義のクレジットカード等の使用や、インターネットでの購入は、個人にポイント等が付与されるため、認められません。

**＜助成対象＞**

|  |  |
| --- | --- |
| 費目 | 備考 |
| 指導用教材 | 玩具、文具、音楽ＣＤ、手鏡　等※　指導中に、子どもが直接触れる消耗品や教材 |
| 口腔機能訓練用教材 | 口腔機能訓練用菓子、ストロー、紙コップ等　※生鮮食品を除く |
| 書籍 | 絵本、ワークブック　等　　※保護者、指導者用を除く |
| 通信費 | 送料、調整用切手 |
| その他 | 振込手数料、代引手数料 |

**＜助成対象ではない物＞**

・教室備品（机、椅子、棚、スリッパ、鉄棒や滑り台等の大型遊具、鉢花等の環境整備、ヘルメット、防災頭巾　等）

・衛生用品（消毒薬、ビニル手袋、マスク　等）

・視聴覚機器(ビデオ、カメラ、ＤＶＤソフト、指導用ＣＤ－ＲＯＭ　等)

・個人機器（iPad、スマートフォン　等）へのデータダウンロード

・保護者、指導者向けの書籍

・生鮮食品

・ファイル

・印刷用インク

**＜領収書についての注意事項＞**

・領収書に品名等、詳細がない場合

＊購入した物が１品ずつ分かるよう明記する。（品名、数量、金額）

　＊納品書や明細書がある場合は、品名、数量、金額が分かる部分のみを切り貼りしてもよい。

・領収書が感熱紙の場合、印字が消える前にコピーをとり、添付してください。

**※１万円を超える教材を購入する場合、幼児教材費担当会計に必ず相談してください。その他購入品についての問い合わせも幼児教材費担当会計までお願いします。**